

緑の風 FAX版

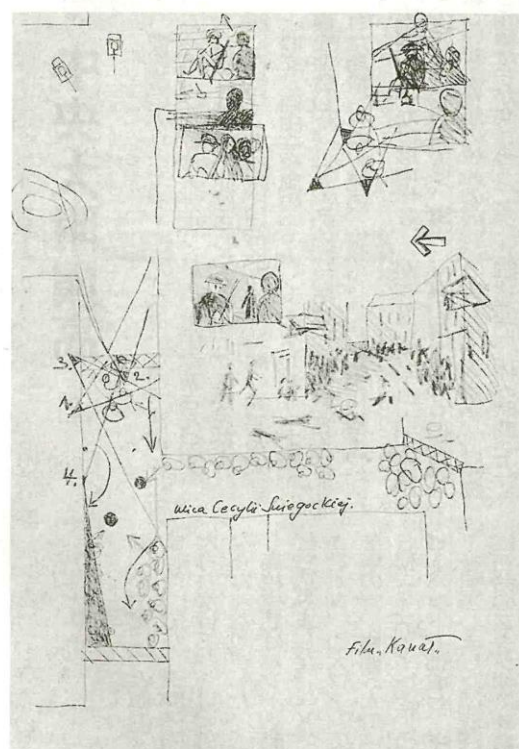
NO. 22
2017年12月20日
JR東労組情宣部

20日から目黒区民美術館

昨年10月に死去したポーランド映画監督、アンジェイ・ワイダさんの絵コンテ展が、20日から目黒区の区民美術館区民ギャラリーで開かれる。主催団体の一つで、絵コンテを所蔵している東日本旅客鉄道労働組合（JR東労組）の担当者は「展覧会を通して日本とポーランドのつながりや、平和について改めて考えてほしい」と話す。

ワイダ監督は市民の目線から、第二次世界大戦中のナチスや戦後のソ連による統治、そして民主化へと揺れ動く祖国ポーランドを描いた映画作品を多く残した。戦中の反ナチス闘争がテーマの「地下水道」（1958年）などは「抵抗三部作」と呼ばれ、政治体制に翻弄される若者の

映画の絵コンテ103点



アンジェイ・ワイダ監督が描いた「地下水道」の絵コンテ。ナチスに抵抗する人々が地下に潜るシーンを描いた＝JR東労組提供

姿を克明に描き、高評価を受けた。

展示されるのは、親日派として知られるワイダ監督からJR東労組などに寄贈された絵コンテ103点。同労組はその返礼だったという。

2017.12.12 (日) 絵コンテは、同労組創設30周年を記念して一般に初めて公開される。映画に加えて演劇のデッサン画もあり、人物の動きや構図のイメージが書き込まれている。

24日まで。入場無料。午前10時から午後5時（24日は午後3時）。問い合わせは実行委（070・1419・3853）。

【中村俊甫】

ワイダ作品の設計図初公開

本日からスタート!

日本文化をこよなく愛した映画界の巨匠
鉄道労働者との心の交流が結実

アンジェイ・ワイダ 演劇・映画 絵コンテ展

入場
無料

場所 目黒区民美術館 区民ギャラリー

期間 12月20日(水)～24日(日)まで

20日(水)～23日(土) 10:00～17:00 (入場は16時)
24日(日)のみ 10:00～15:00 (入場は14時)

主催 全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)
東日本旅客鉄道労働組合(JR東労組)



皆様のご来場お待ちしております!